

中学校

- 主題名 行動結果に誠実に向き合う心（A 自主、自律、自由と責任）
- 教材名 「ネット将棋」（『私たちの道徳』中学校）
- ねらい 人が見ているかどうかに関わらず、道徳的な自覚に支えられた自律的な行動の大切さに気づき、誠実に実行し、その結果に責任をもとうとする態度を養う。
- 学習指導過程

	学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）	具体的な指導・援助
導入 2分	1. 人がいないから、誰もわからないから、ということで見失う「僕」が登場するお話をもとに話し合います。 2. 「ネット将棋」とはどのようなものかな？	◇ねらいとする価値への方向付けを行います。
展開 43分	3. 教材「ネット将棋」を聞く。 4. 教材をもとに考え、話し合う。 ○「僕」が笑えなかったのは、どのようなことを考えていたからだろうか？ ・顔が見えないからと卑怯なことをしていた。 ・勝ち負けではなく、相手と誠実に対戦する姿勢が大切だ。 ・相手が見えなくても、いつでも誰に対しても相手の立場を考えることが大切だ。 ○心から「負けました」と言うことができるのは、どのような思いからだろうか。 ・勝負の結果を受け止め、自分の行動に責任をもつという思い。（ア） ・本気で勝負しているという思い。（イ） ・「負け」から学ぶことができるという思い。（ウ） ・誰に対しても相手の立場を考えることが大切という思い。（エ）	・教師が範読する。 ◇適切な声の大きさと話すことや、意見をしっかりと聞く（傾聴すること）が大切です。学校の教育活動全体での指導を大切にして道徳科の授業に生かします。 ◇人が見ていないから、誰もわからないから、ということ、自分の良心に恥じる無責任な行為をするときの感じ方や考え方を率直に出させます。 ◇自分が人として、無責任なことをした、自分の良心に恥じることをしたと感じ始めた「僕」の心情・判断について語り合えます。
	◇発問に対する生徒の様々な反応を、複数の教員で出し合うなど、上記のように予想をしておくことで多様な意見を引き出せます。また、生徒の意見を、内容ごとに板書すると意見が分類・整理できます。 ・行動に責任 ←（ア）のような意見を（ネームプレート等を活用して）まとめる ・本気の勝負 ←（イ）のような意見を（ネームプレート等を活用して）まとめる ・負けから成長できる ←（ウ）のような意見を（ネームプレート等を活用して）まとめる ・相手の立場を考える ←（エ）のような意見を（ネームプレート等を活用して）まとめる	

	<p>5. 「僕」の思いについて、自分のこととして考える。 ○あなたは、ア～エのどの意見に近いだろう。 そして、それを選んだ理由は何だろう。 また、異なる意見に質問はないだろうか。 ア、エ…自分でよいことかどうかは分かる。自分で悪いことと分かっていることはしたくないから。 あとで後悔したくないから イ、ウ…本気で「負け」を感じることができるから、楽しめるし、学び、成長できるから。</p> <p>6. 生徒の発言をもとに、多面的・多角的に考える。 ○クラスの友だちの発言で、「参考になった」「はっとした」などと感じた発言はどれかな。</p>	<p>◇4で分類・整理した意見（道徳的価値）の中から、自分の価値観を選ばせ、自己の価値観の自覚を深めます。</p> <p>◇生徒が自分との関わりで道徳的価値を理解したり、自己を見つめたりする学習を心掛けます。</p> <p>☆補助発問 （イ、ウの人に）… 「なぜ、負けたのに楽しめるのかな。」 →負けると、「次こそ勝つ」と思えるから。</p> <p>◇異なる意見に質問が出ないときは、教師が意図的に質問します。</p> <p>・授業の様子から、何人かに意図的に指名する。</p>
<p>終末5分</p>	<p>7. 教師から、日頃からどのようなことを大切に、毎日を過ごそうとしているか、について話を聞き、振り返りカードを書く。</p>	<p>◇「自主、自律、自由と責任」の内容項目の趣旨から離れてしまわないよう、事前にどのようなことを話するか、準備しておきます。</p>
<p>◇クラスの友だちの意見から、学び、成長できたことを出し合います。 ・「○○さんの、あとで後悔したくないから、責任をもって行動する、という意見がなるほどと思った。」 ・「△△さんの、本気で『負け』を感じることができるから、楽しめるし、学び、成長できる、という意見が参考になった。」</p> <p>◇道徳科においては、生徒が道徳的価値の理解を基に物事を多面的・多角的に考えることができるようにすることが大切です。ここでは、クラスの友だちの様々な意見を参考にすることで、道徳的価値のよさや意義、困難さ、多様さなどの理解を深めていくようにしています。</p>		

<板書計画>

◇生徒自身がどの意見に近いかを考えやすくするために、ア~エの記号をつけるとともに、観点ごとに線を引くなどの工夫をします。

第〇〇回 道徳

ネット将棋

僕が笑えなかったのはどのようなことを考えていたからだろうか

- ・顔が見えないからとずるいことをしていた。
- ・勝ち負けではなく、相手と誠実に対戦する姿勢が大切だ。
- ・相手が見えなくても、いつでも誰に対しても相手の立場を考慮することが大切だ。

心から「負けました」と言うことができるのは、どのような思いからだろうか

- ア ・結果を素直に受け止め、**自分の行動に責任をもつ**という思い。
- イ ・本気で**勝負している**という思い。
- ウ ・「負け」から**学ぶ**ことができるという思い。
- エ ・誰に対しても**相手の立場を考慮**することが大切という思い。

ネームプレート

◇ネームプレートを活用して、出された意見を分類、整理します。板書の時間を取り過ぎないように効率的に、多様な意見を「見える化」します。

◇クラスの友だちの多様な感じ方や考え方に触れることで身近な集団の中で自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめられるようにします。

◇ネームプレートは、生徒の考えの変化によって、貼り替えます。

<参考>

導入では、「勝つことを大切にする試合で、心から『負けました』と言えるようにとは、いったいどんな試合を目指せということなのだろう」と発問することも考えられます。